



Title	OUKA News Letter : 第8号
Author(s)	大阪大学附属図書館 電子コンテンツ担当
Citation	OUKA News Letter. 2022, 8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/89365
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

OUKA News Letter

第8号 2022.10

大阪大学のオープンアクセス情報誌

OUKAニュース

システム更新によるOUKAのリニューアル

去る9月26日にOUKAはシステム更新を行いました。従来の機能は引き継いだうえで、以下のような機能強化がなされました。今後もぜひご活用ください。

■貴重書等の画像公開におけるIIIF規格対応

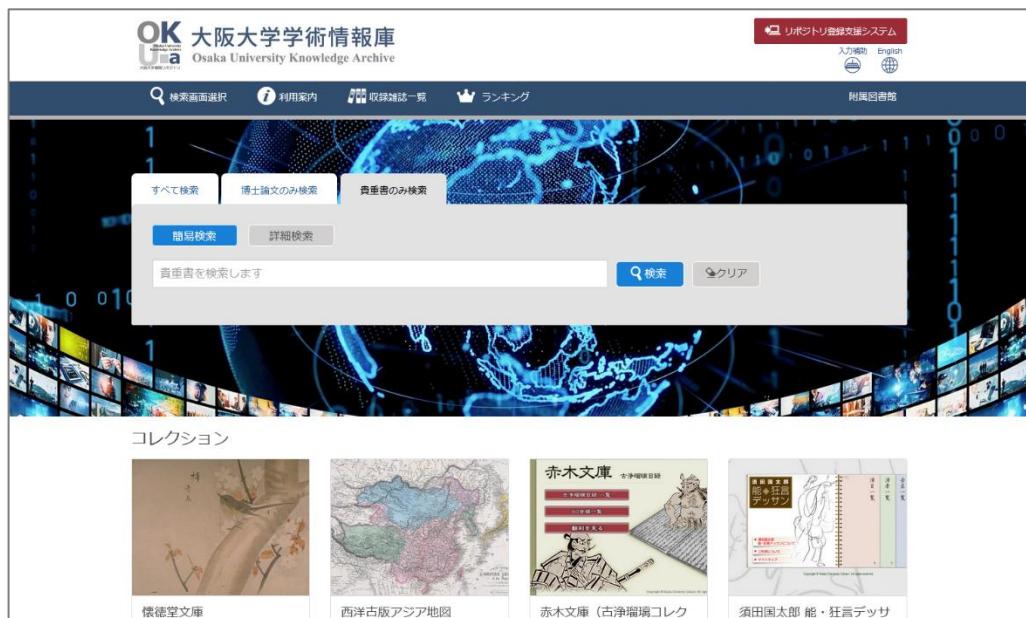
画像公開・共有の国際規格“[IIIF \(International Image Interoperability Framework\)](#)”に対応し、IIIF対応ビューワでの画像表示や「IIIF manifestファイル」が出力されます。詳しくは次ページ以降の特集記事をご覧ください。

■研究データ登録への対応

- ・[JPCOARスキーマ](#)の採用によって、研究データ公開に対応したメタデータ要素の拡充を行っていきます。
- ・ファイルのダウンロード前に利用規約を表示させる、利用目的を入力させるなどの公開制限機能が今後実装される予定です。

■サイト全体について

- ・画面のレスポンシブデザイン化（利用者の画面サイズに合わせて利用しやすいページレイアウトになるデザイン）によって、モバイル端末から閲覧しやすくなりました。
- ・以下のような貴重資料の[検索専用画面](#)を新しく設けました。



Switching-ON OU×OA

今回のテーマ：IIIFのキホン

特集記事



前頁で言及したとおり、OUKAはIIIFでの画像公開に対応しましたが、IIIFではどんなことができるのかを、ごく一部ですが紹介します。

International Image Interoperability Framework の頭文字を取ったIIIF（トリプルアイフ）はその名のとおり、デジタルアーカイブ等で公開されている画像を「相互運用」するための標準規格です。現在、国内外の多くの図書館などがIIIFに対応した画像公開を行っており、OUKAもそれに加わったかたちです。

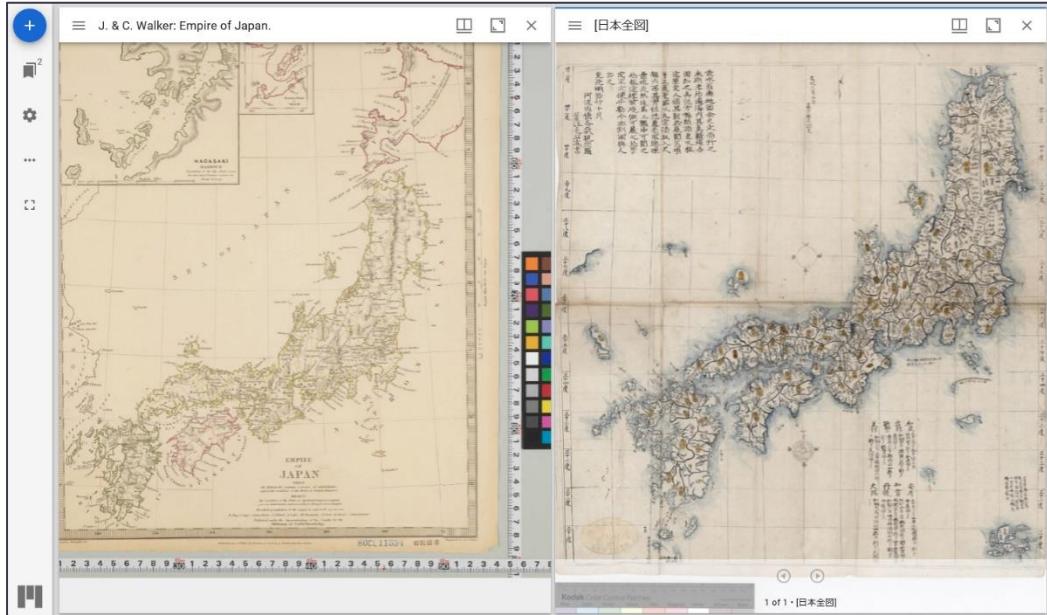
IIIF対応ビューワーでの閲覧

OUKAのIIIF対応において最も分かりやすい点としては、詳細画面にIIIF対応の画像ビューワーが埋め込まれており、ビューワー上で画像の拡大・縮小やページ送りができます。



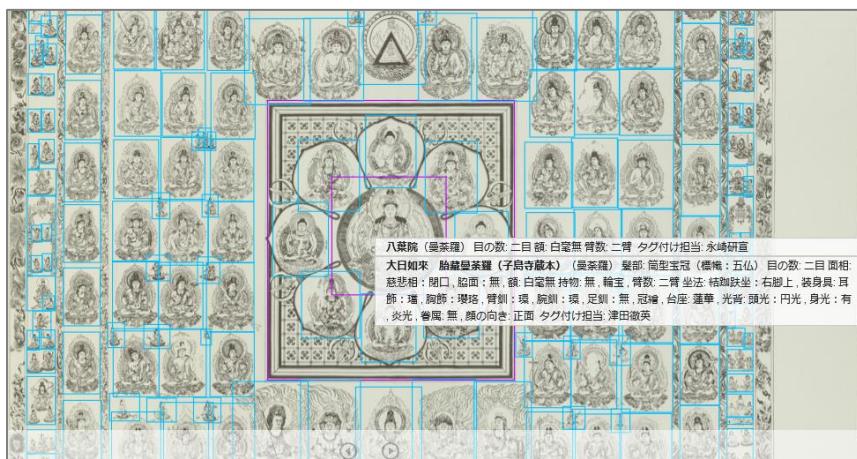
OUKAでは当該資料のメタデータを記載した「manifestファイル」を出力しています。IIIFに対応したデジタルアーカイブの画像は、IIIFアイコンをドラッグ&ドロップもしくはmanifestのURLを貼り付けることで、様々なIIIF対応ビューワーに表示させることができます。

IIIF対応ビューワ “[Mirador](#)” は複数の画像を並べて表示させることができます。以下の図はOUKAで公開中の「[西洋古版アジア地図](#)」の資料と青森県立図書館の資料を並べて表示させたものです。



アノテーション（注釈）の付与

IIIFには、画像の座標情報とともにアノテーション（注釈）を保持する仕様があります。アノテーション表示に対応したビューワを使用することにより、以下のように画像上にアノテーションを乗せるといった機能を実装することもできます（OUKAでは未実装）。



出典) SAT大正大藏經DB <https://dzkimgs.l.u-tokyo.ac.jp/SATi/images.php?vol=12b02>

このようにIIIFは、世界各国で公開されている画像を収集、編集、注釈の付与などの加工のうえ（利用条件が許せば）Webに公開することを可能にします。ここでご紹介できたのはIIIFのごく一部ですが、画像をIIIFという標準規格でオープンにすることで、様々な研究・学習に活用できる可能性が広がっています。

OUKA担当からのお知らせ

あなたの論文を、OUKAで公開しませんか？

OUKAで論文を公開すると、世界中の読者が無料でアクセスできます。

著作権調査など、公開にあたり必要な作業は図書館で行います。

コンテンツ公開のご依頼やお問い合わせ、ご相談など、まずはお気軽に附属図書館・電子コンテンツ担当までご連絡ください。



OUKAちゃん

OUKAに登録するメリット

- (1) 研究成果の可視性・知名度の向上につながる
- (2) 研究成果が無料で永続的に維持・管理される
- (3) 冊子体が無くともボーンデジタルコンテンツとして研究成果を公開できる

公開までのフロー

1

リポジトリ登録支援システムを通じて研究成果のOUKA登録をご依頼ください。※

2

図書館で著作権を調査します

3

著作権上問題がないものについて図書館で登録作業を行います

4

インターネットで無料公開されます

※教員・研究員の方限定となります。それ以外の方は下部連絡先まで研究成果をお送りください。

登録の条件

研究成果を登録できる方

- (1) 本学に在職し、又は在職した役員及び教職員。
- (2) 本学大学院（博士前期課程及び修士課程を除く。）に在学し、又は在学した大学院生。
- (3) 第1号に掲げる者を構成員に含む団体。
- (4) その他、附属図書館長が適当と認めた者。

登録することができる研究成果の種類

学術雑誌論文、博士論文、紀要論文、研究成果報告書、図書、会議発表用資料、教材、本学所蔵の学術情報資料
その他、附属図書館長が適当と認めたもの

お問い合わせ先

附属図書館 電子コンテンツ担当 ouka@office.osaka-u.ac.jp